

平成31年2月1日

保護者の皆さま

大阪府立豊中高等学校  
校長 平野 裕一

## 学校教育自己診断に関するアンケート調査結果について

平素は本校の教育活動にご理解、ご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、今年度も「学校教育自己診断」を10月に実施し、769名(69.0%)の保護者の皆さまから回答をいただきました。生徒実施分1087名(97.5%)とあわせて結果とそのまとめを報告いたします。

昨年同様に肯定的な回答が大半ではありましたが、個々に見ると改善を要する項目や、より力を入れていかなければならない項目もあります。例えば、豊中高校に「行くのが楽しい」と肯定的評価(そう思う、まあそう思うの合計)な回答の割合は、保護者・生徒ともに87.3%でしたが、生徒の「学習の評価」に関する項目に関する回答結果を見ると、家庭学習の習慣等にまだまだ改善の余地があります。

3年間を通して勉学と部活動の両立を心がけ、授業を大切にすることが進路実現への最も近道であることを踏まえ、自学自習の態度を育成し、自宅での学習時間を有効に活用し、学習の質を上げていくことが最重要課題と考えております。学校では、授業の質を高めるとともに、学習意欲のさらなる向上をめざして、GLHS(グローバルリーダーズハイスクール)校としての多様な企画やSSH及びSGH事業をはじめとした課題研究、土曜日午前の講習、土曜セミナー等を行っています。ご家庭におかれましても学習習慣の確立に向けてご協力いただきますようお願いいたします。

### 生徒アンケート調査結果のまとめ

#### 1. 「学習の評価」に関する評価について、①1年生、②2年生、③3年生とすると、

ご家庭での学習について

項目7「家庭学習の習慣がついている」で肯定的(よくあてはまる・ややあてはまる)な回答の生徒(H29)①40.2%、②43.4%、③87.2% ⇒(H30)①44.7%、②48.8%、③87.3% 全体で3.3%増

項目8「平日の家庭学習時間が2時間以上」と回答した生徒(H29)①20.7%、②25.4%、③91.6% ⇒(H30)①21.9%、②29.2%、③92.6% 全体で2.0%増

項目9「休日の家庭学習時間が2時間以上」と回答した生徒(H29)①37.3%、②47.0%、③94.8% ⇒(H30)①54.0%、②44.9%、③97.4% 全体で5.8%増

となっており、2年生の休日の家庭学習時間以外は、昨年度より家庭学習時間が改善されていますが、1、2年生については、家庭学習の習慣が身についていると回答した生徒が50%未満ですので、平日に(学年)+1時間以上は自宅での学習時間を確保して欲しいと思います。

その他「学習の評価」についての項目で、肯定的評価は全学年の平均で

項目2「授業内容は自分の学習や発達に役立っている」ので(H29)87.5% ⇒(H30)90.7%

項目3「教材や指導方法に工夫が感じられる授業がある」は(H29)80.8% ⇒(H30)84.0%。また、

項目4「授業で自分の考えをまとめ、発表する機会がある」は(H29)69.6% ⇒(H30)72.5%  
でした。

豊中高校では、受験に対応する高いレベルの授業内容を保ちながら、生徒たちが自ら考え、自ら学ぶ姿勢を養う授業の在り方を「豊高型アクティブラーニング」授業と名付け、教員の授業力向上研修を実施するなど授業改善に取り組んでいます。その成果指標のひとつとして、肯定的評価が高くなるよう取り組みを進めていきたいと思っております。さらに、

項目10「自習室を利用している」の肯定的評価が(H29)35.6% ⇒(H30)47.9%と昨年度よりも利用

率が 12% 上がり、「ノークラブデー」や課題研究等の授業を有効的に活用し、自習室・図書室利用していると思われます。

## 2. 進路指導について

項目 20 「希望する進路を実現するための講習や補習が充実」が(H29) 69.6% ⇒ (H30) 89.1% と約 20% 大幅に増加。また、

項目 5 「自分の希望進路に応じた選択科目が用意されている」が(H29) 86.8% ⇒ (H30) 91.8%

項目 18 「学校では進路についての情報を得ることができる」は (H29) 85.5% ⇒ (H30) 86.4%

項目 19 「将来の進路や生き方について考える機会がある」は (H29) 82.7% ⇒ (H30) 91.2 と増加しました。一方で、

項目 14 「わからない所を質問に行ったら、丁寧に教えてもらえる」が (H29) 93.6% ⇒ (H30) 91.1%

項目 23 「先生は進路や学校生活等の悩みや相談に親身になって応じてくれる」が (H29) 82.6% ⇒

(H30) 81.2% と少し評価が下がりました。また、

項目 11 「学習の意欲が向上するような講演や行事がある」は (H29) 48.1% ⇒ (H30) 56.6% と増加しているものの、個々の教員が生徒からの質問・進路相談にしっかりと対応し、生徒たちの自立・自己実現の支援や学習意欲の向上につながる取組みを検討していく必要があると考えております。

## 3. 行事、部活動等、生徒指導について

項目 27 「文化祭・体育大会・修学旅行等の学校行事は楽しく行えるよう工夫されている」が (H29) 91.8% ⇒ (H30) 89.2%、

項目 28 「ホームルーム活動や行事にはクラス全体で取り組んでいる」は (H29) 89.0% ⇒ (H30) 94.3% と豊高生の学校行事やHR活動への満足度は高く、部活動の参加率の高さとあわせて充実した学校生活を送っていると考えられます。

## 4. 全般について

項目 1 「学校に行くのが楽しい」と回答する生徒は

(H29)①85.1%, ②86.0%, ③ 83.8% ⇒(H30)①91.9%, ②85.8%, ③ 84.3%、

項目 33 「豊高に入学してよかった」と回答する生徒は、

(H29)①83.7%, ②89.9%, ③ 93.6% ⇒(H30)①87.0%, ②87.5%, ③ 94.2%、となっており、ともに2年生で肯定的評価の数値が下がりますが、全体的には充実した学校生活を過ごしている生徒が多いと思われます。

また、ここ数年、心身の悩みや不安を抱えた生徒が増加する傾向にあることから、校内の教育相談についての項目は、

項目 25 「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる」が

(H29) 49.7% ⇒ (H30) 88.0% と大幅に評価が高くなりました。

「いじめ」に関する項目については、

項目 26 「いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」が (H29) 80.8% ⇒ (H30) 79.0% と少し評価が下がりましたが、ひとり一人の生徒を大切に、個に応じたきめ細かい指導の充実を図るとともに、校内の教育相談体制の周知に努め、カウンセリングマインドをもった生徒指導の充実を図っていきたいと考えております。

SSH 及び SGH 事業や、本校独自の学習サポートプログラム、海外研修などの多様な企画について知っているかを尋ねた項目 15, 16, 17 の認知度は

項目 15 「SSH 事業によるセミナーや校外研修などに取り組んでいることを知っている」

(H29) 79.1% ⇒ (H30) 95.1%、

項目 16 「SGH 事業によるセミナーやフィールドワークなどに取り組んでいることを知っている」

(H29) 75.2% ⇒ (H30) 81.9%、

項目 17 「本校独自の学習サポートプログラム、海外研修など多様な企画を実施していることを知っている」 (H29) 77.4% ⇒ (H30) 79.8 でした。

いずれの項目も、肯定的評価の数値が上がりましたが、本校の特色ある教育活動を学校全体にさらに広げていくためにも、在校生への広報活動に工夫を凝らし、できる限り多くの生徒が活動に参加できるようにしていきたいと考えています。

---

## 保護者アンケート調査結果のまとめ

---

### 1. 学習について

学習面について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を肯定的な回答とすると、

項目 5 「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている」 (H29) 62.5% ⇒ (H30) 66.1%、

項目 6 「学習評価の仕方は納得できる」 (H29) 91.0% ⇒ (H30) 92.0%

項目 7 「授業内容が子どもの学習や発達に刺激を与えている」 (H29) 75.0% ⇒ (H30) 75.9%

でした。「豊高型アクティブラーニング」授業を始めとした、教材や指導方法の工夫とともに学習意欲を高める講演や行事の取組みをさらに進めていく必要があります。また、GLHS 校、SSH および SGH 指定校としての多様な企画についても、生徒全体に向学心を持たせるような内容を充実させるよう検討してまいります。

### 2. 進路指導、学校行事、部活動、生活指導について

進路指導面では、

項目 12 「将来の進路について適切な指導を行っている」 (H29) 75.1% ⇒ (H30) 83.4%

項目 13 「生徒の進路に関して、家庭との連携がとれている」 (H29) 56.2% ⇒ (H30) 77.8% と、進路関連の取組を保護者に直接メール配信するなど情報発信の方法の工夫を起こったため大幅に肯定的評価が高くなったと考えられます。

学校行事や部活動への満足度は高く、学習とともに教育活動の柱であるとの認識を学校と共有できていると考えられます。

生活指導面では、

項目 15 「生活指導の方針に共感できる」 (H29) 82.8% ⇒ (H30) 85.3%、

項目 14 「生活指導面で家庭への連絡をきめ細かく行っている」 (H29) 49.8% ⇒ (H30) 59.7%、

項目 27 「学校のホームページ（校長ブログなど）を見ている」 (H29) 38.8% ⇒ (H30) 71.4% と、

校長ブログを平日は毎日更新、今年度から「豊高の進路指導」の連載を PTA メールで配信するなど学校の取組みの様子を保護者の皆様にお伝えできるよう改善いたしました。

### 3. 全般について

項目 1 「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」 (H29) 86.7% ⇒ (H30) 87.3%

項目 2 「子どもは充実した学校生活を送っている」 (H29) 91.6% ⇒ (H30) 93.6% となっており、

学校の教育活動全般をある程度評価されていると言えます。

しかし、記述していただいた中に、「部活動のあり方」「家庭学習の問題」等、貴重なご意見をいただきました。生徒アンケートにおける「家庭学習の習慣がついている」 (H29) 56.9% ⇒ (H30) 60.3%

と生徒の家庭学習の習慣・家庭学習時間は肯定的評価があまり高いとはいえませんので、「ノークラブデー」の在り方を工夫し、有効活用することで自学自習の時間の充実と部活動の活性化につなげていきたいと考えております。

その他、改善が必要な項目として、

**項目 19** 「子どもの心身の健康や進路について気軽に先生に相談できる」の肯定的評価が  
(H29) 61.3% ⇒ **(H30) 68.4%**

**項目 26** 「P T A活動には参加しやすい」の肯定的評価が  
(H29) 55.4% ⇒ **(H30) 68.8%** という結果でした。

**項目 19**については、生徒アンケート「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる」の肯定的評価が (H29) 49.7% ⇒**(H30) 88.0%**、「先生は進路・学校生活の悩みや相談に親身になって応じてくれる」の肯定的評価が (H29) 82.6% ⇒**(H30) 81.2%** と、担任以外の教員でも心身の健康や進路指導について気軽に相談に応じることができる体制作りが必要であると考えております。**項目 26**「P T A活動には参加しやすい」についても、保護者の皆様が学校行事等を通じてP T A活動に気軽に参加できる体制の充実を図っていききたいと考えております。

生徒・保護者の皆様からの評価はもちろん、貴重なご意見やご要望もたくさんいただきました。私たち教職員一同、学校の教育活動全般について家庭との連携をさらに密にしていくよう努めるとともに、より一層の改善に努めてまいりたいと考えております。

※ 学校教育自己診断の全項目は、本校ホームページに掲載しております。是非ご覧ください。  
<https://www2.osaka-c.ed.jp/toyonaka/>